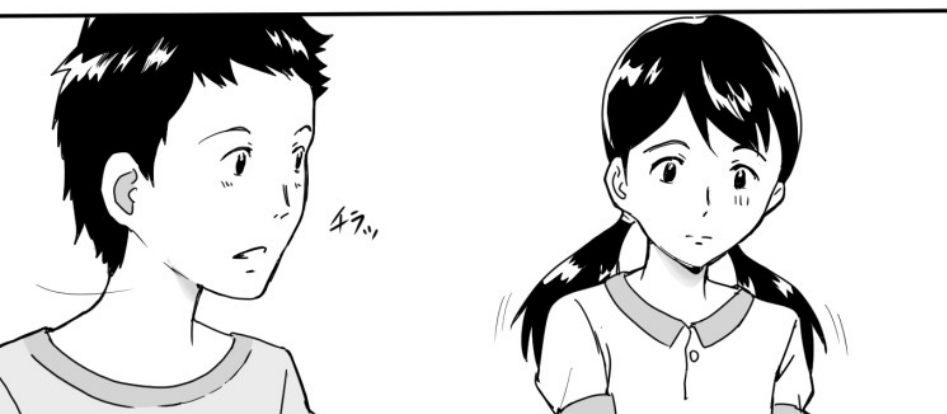
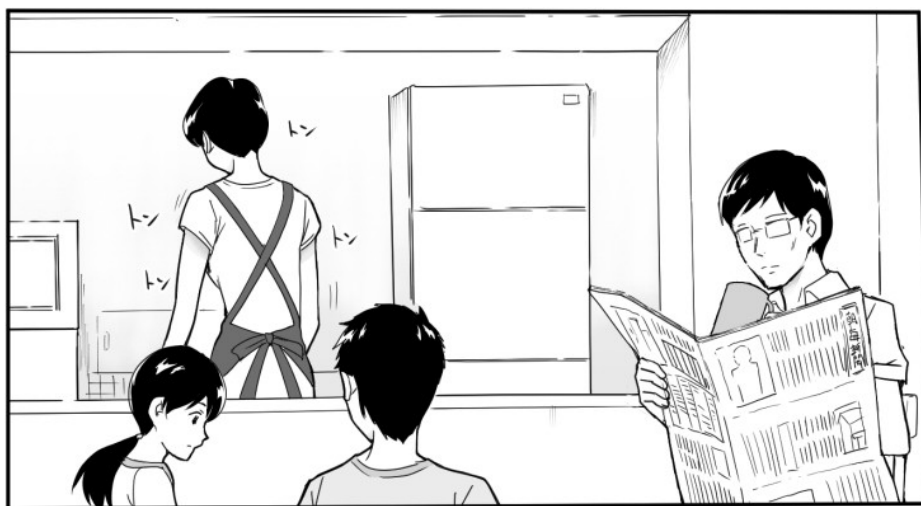
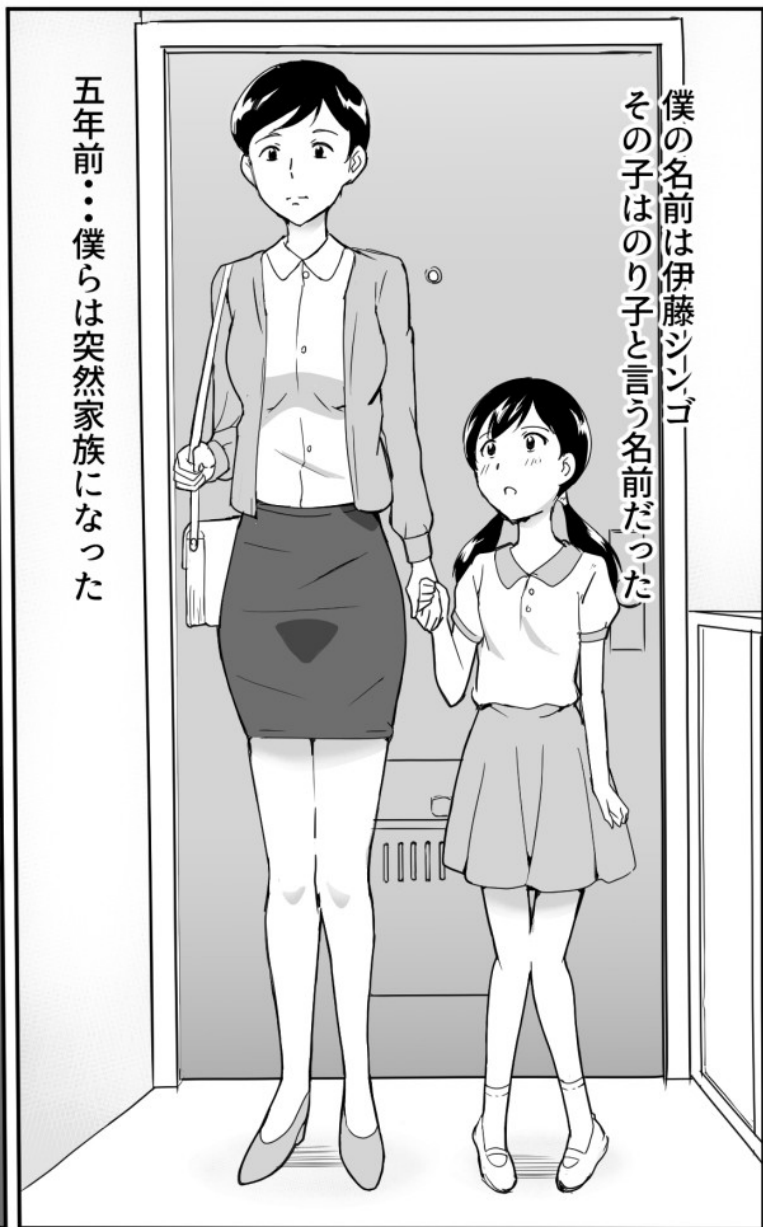


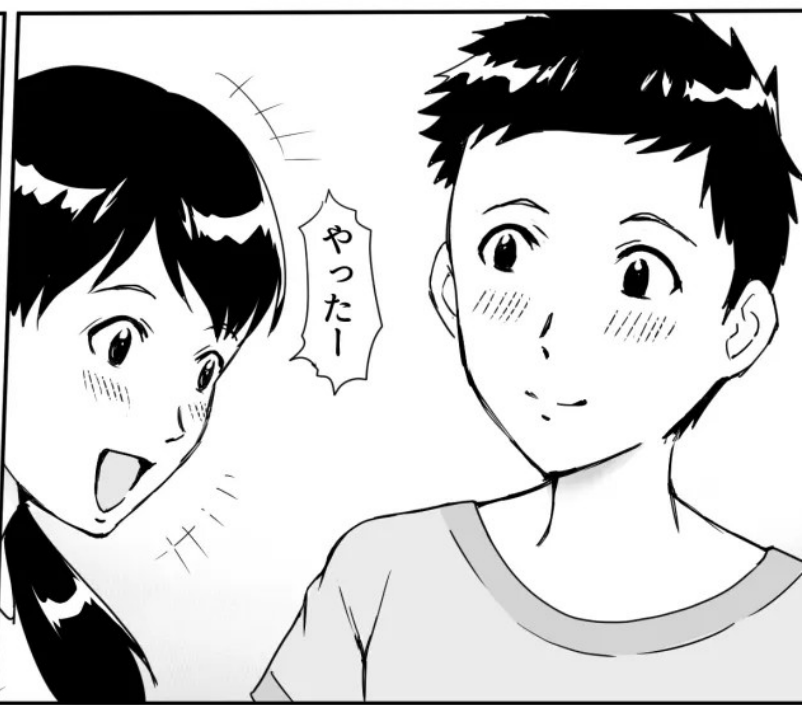
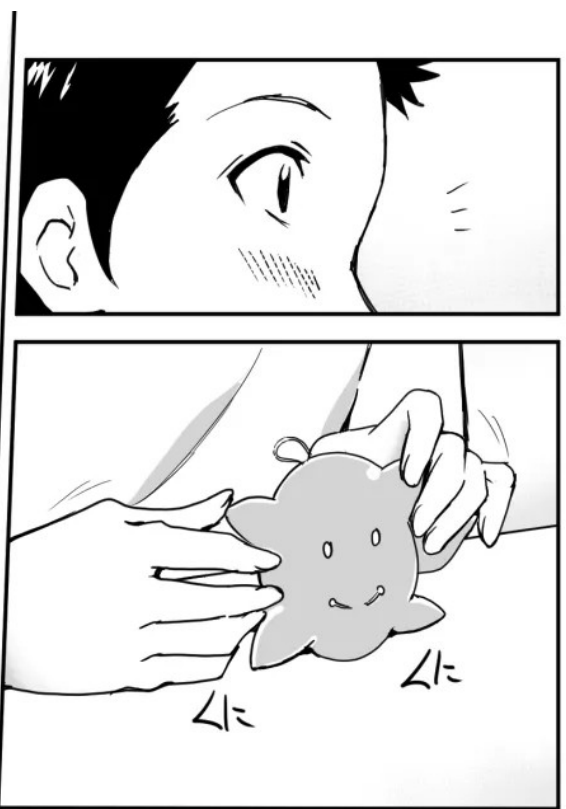
第一話
のり子

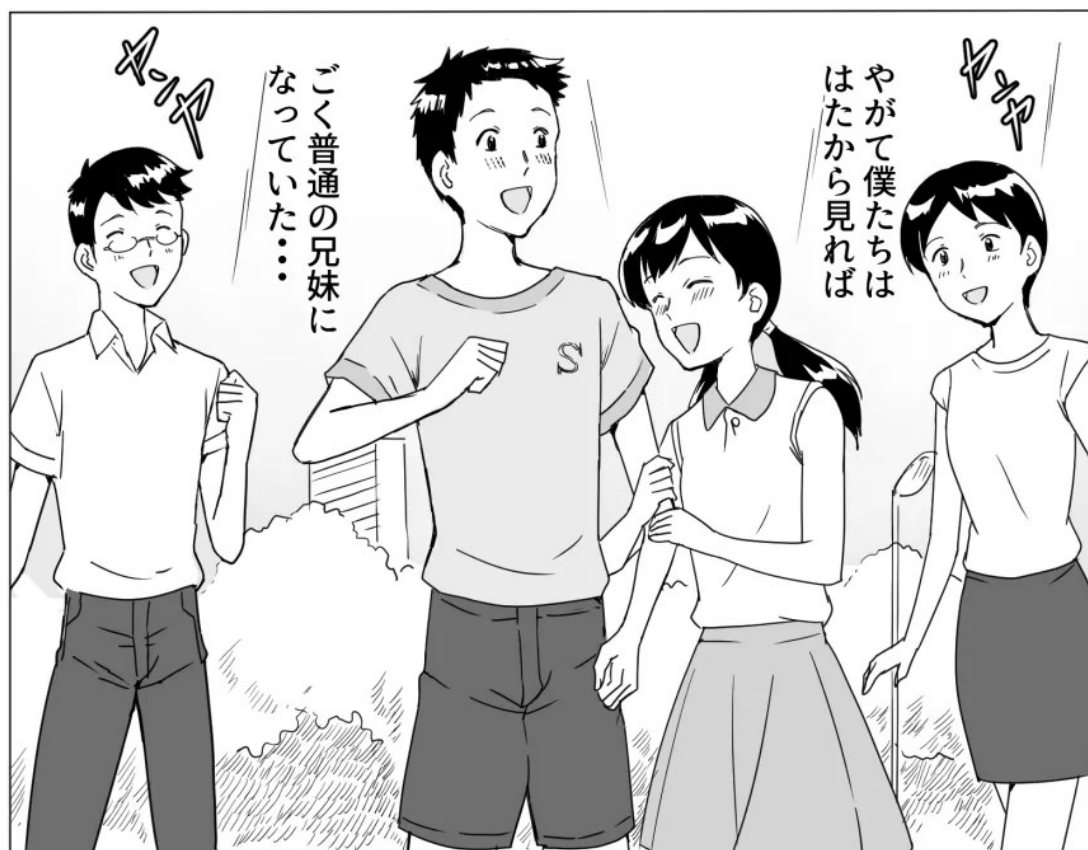
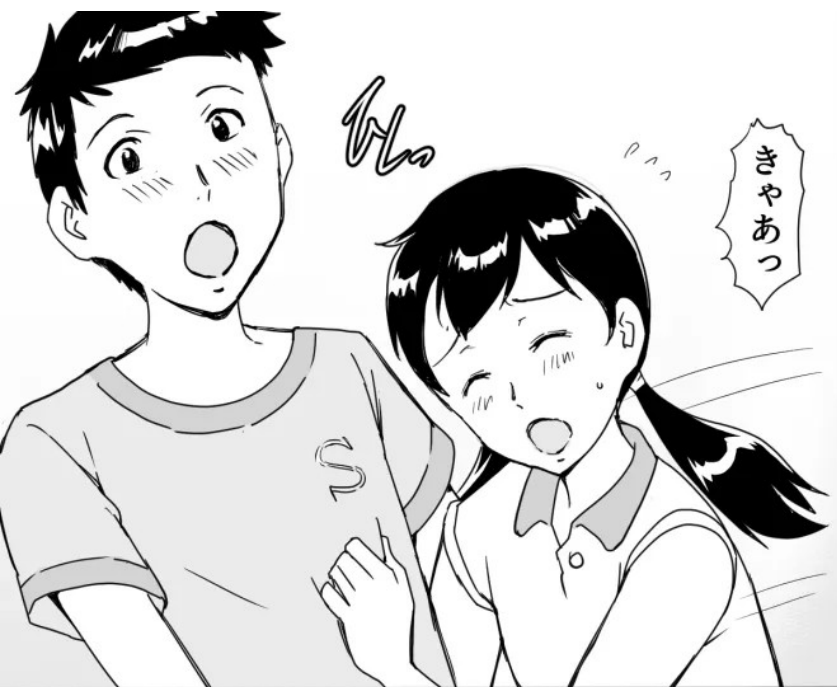


団地ののり子











とっくに
仕事行ったよ

母さんは?



シン兄ちゃん
おはよう

フアア...

お..おう



現在



えっ...
何が?

お前もう少し
なんとかなら
ないか?



アハハハ
おかしー

どんがな
まんがな



あっ

えー...
そうなの?

もうこんな時間!
わたしたちも
早く行かないと



それは...ほら
アレだよ

格好とか...
少し気にしろよ

僕たちが進学する頃には
父が病気で亡くなっていた...

お兄ちゃん
帰り買い物
付き合ってよ

えええ

母子三人が細々と
暮らしている...
そんな状態だった

母は一人で家計を支える為

雑誌の編集部で朝早くから
夜遅くまで...時には
家にも帰らずに働いた

当然家ではのり子と三人きりで
過ごすことが多くなった

最初は二人ともお互いが頼りで
寄り添って兄妹の絆を深めた...

しかしやがて僕は...

カズミ
おはよう

のり子

お兄さん何
話してたの？

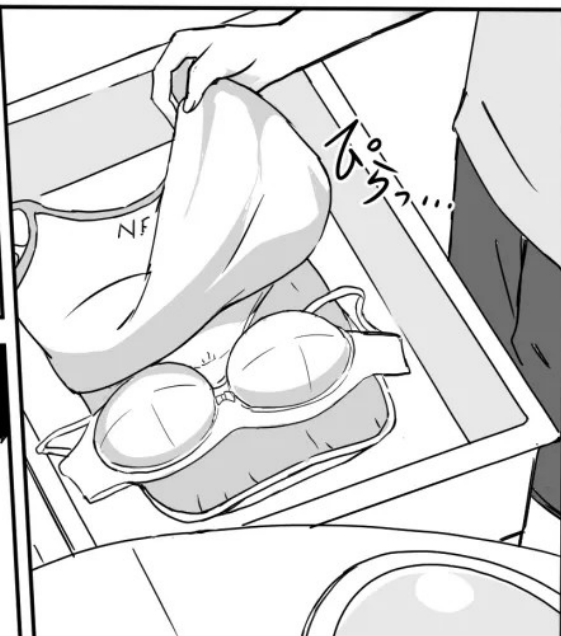
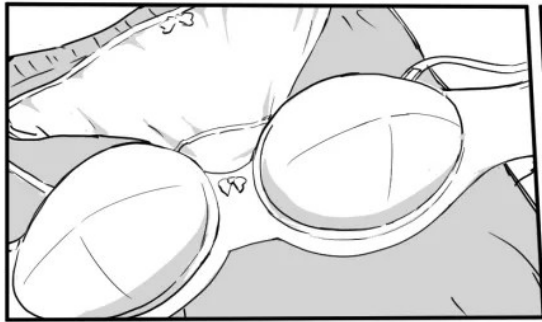
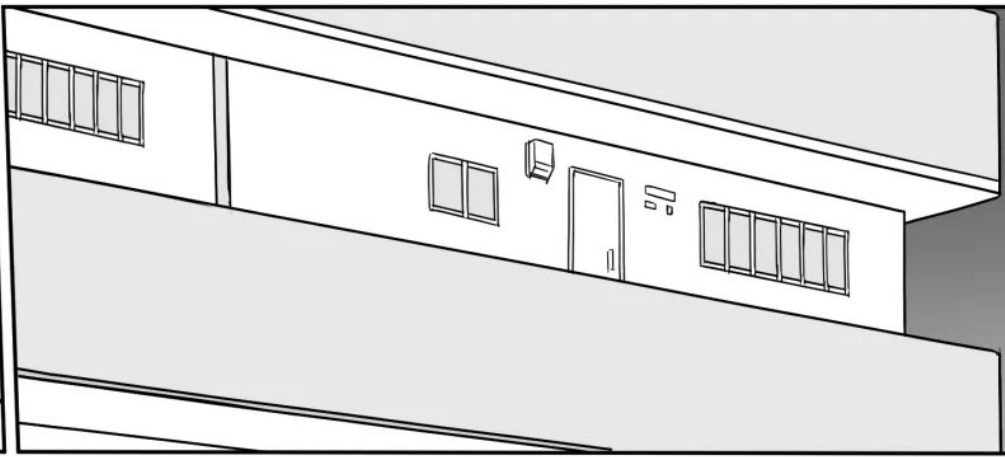
日に日に成長する
のり子に...
別に

あ、のり子
宿題みせて

今までは違う想いを
抱くようになった

ヤキッパハンで
手を打とう

やったー





母さんの経済的・時間的な
余裕がないからだ

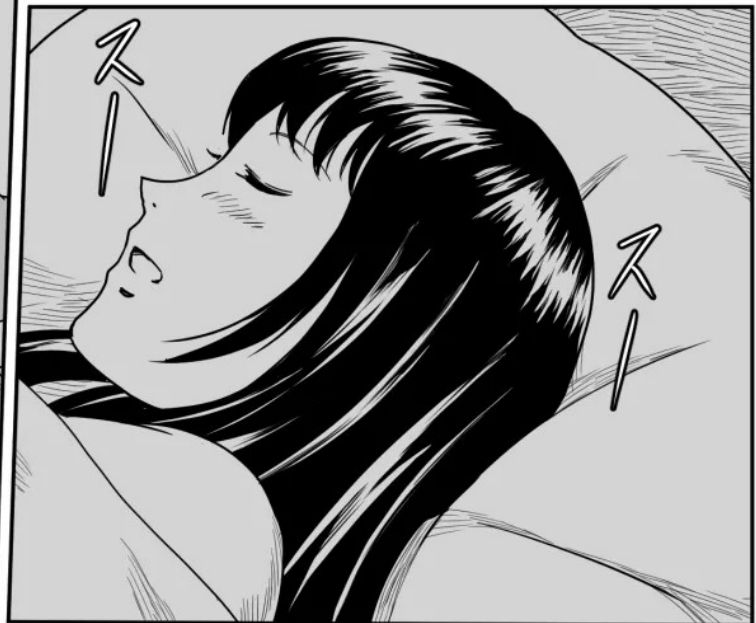
僕らはいまだに昔の
二段ベットを使っている



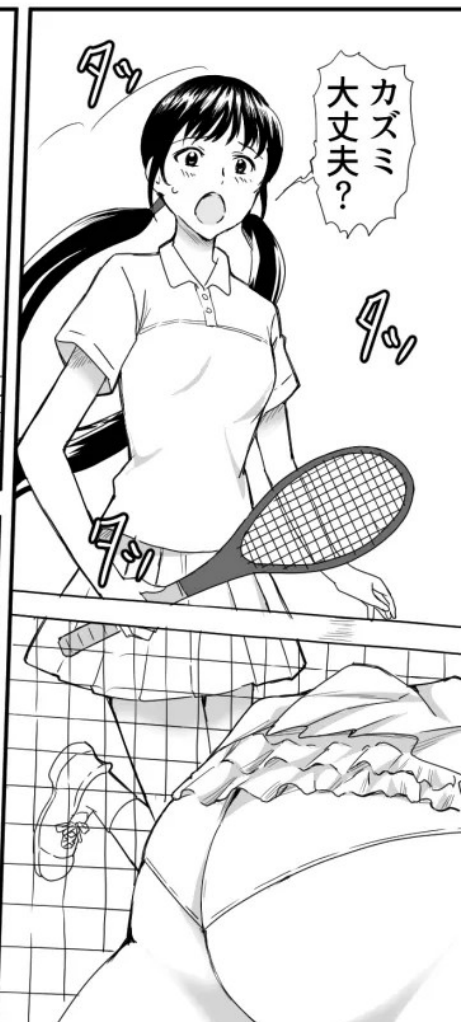
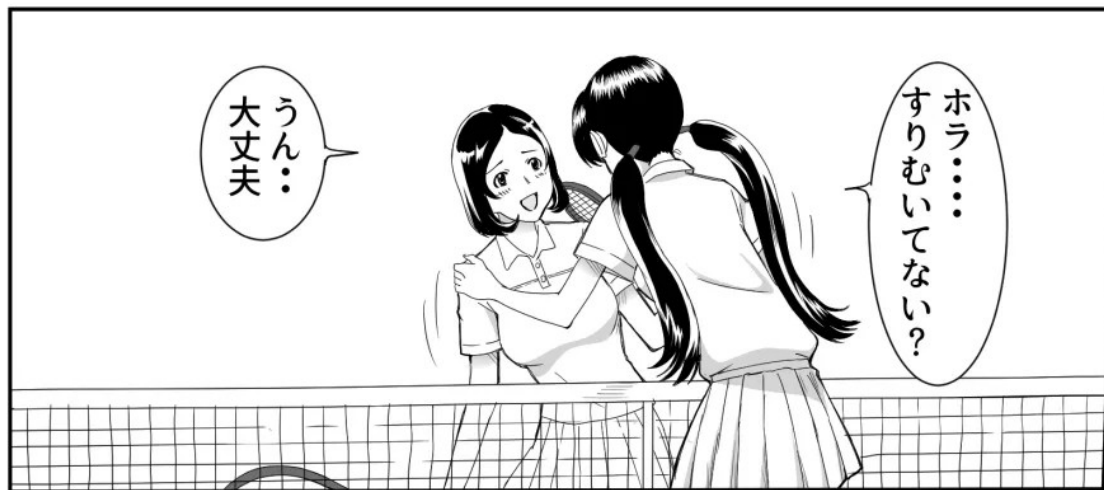
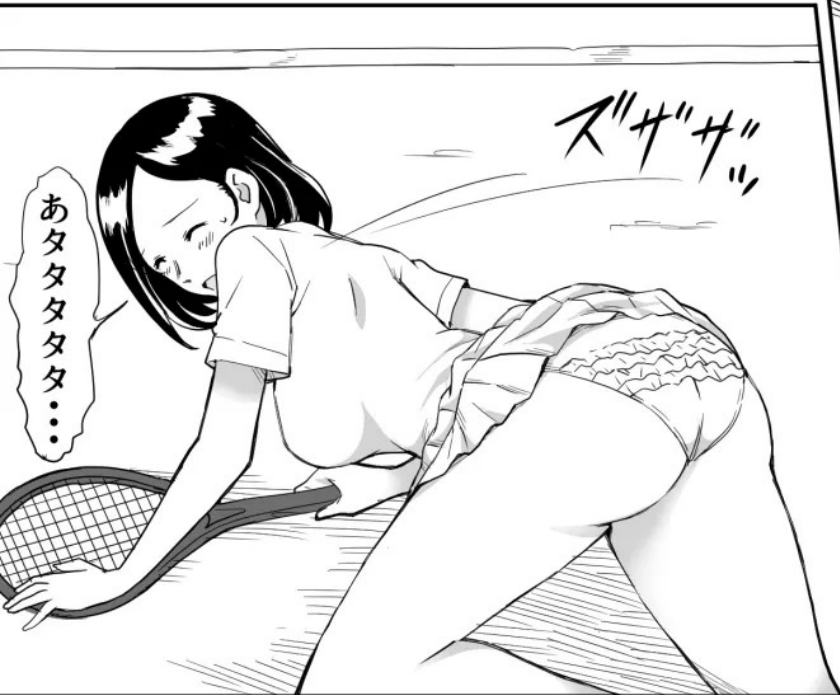
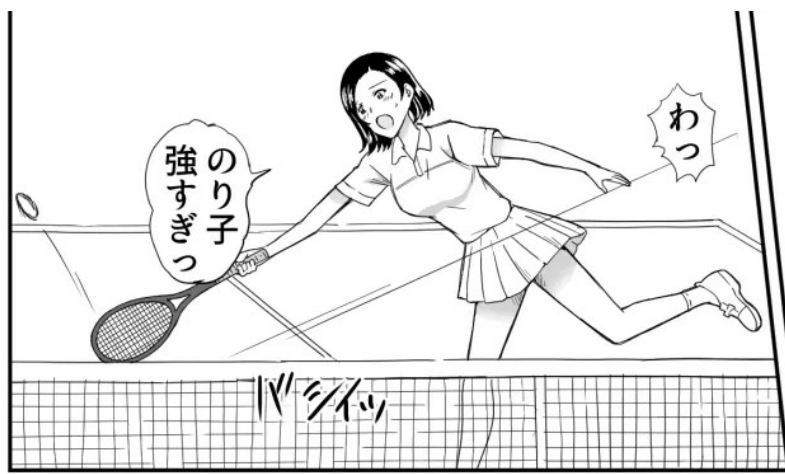
かろうじてのり子の
着替えが脱衣所なのを
除けば……

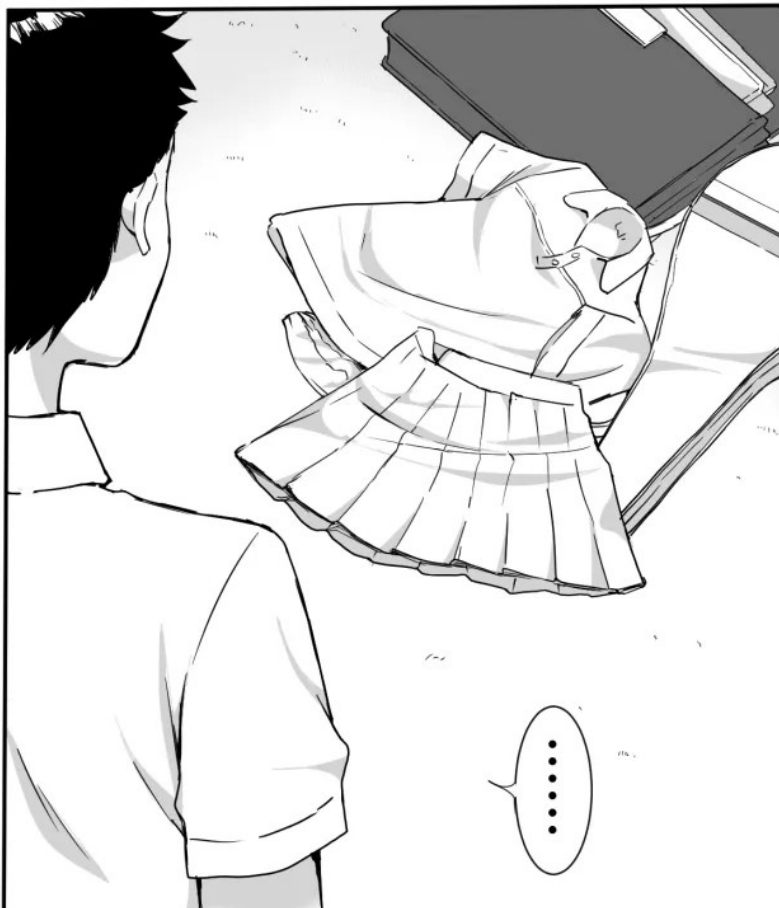
狭い団地でずっと同じ
生活空間で過ごしている

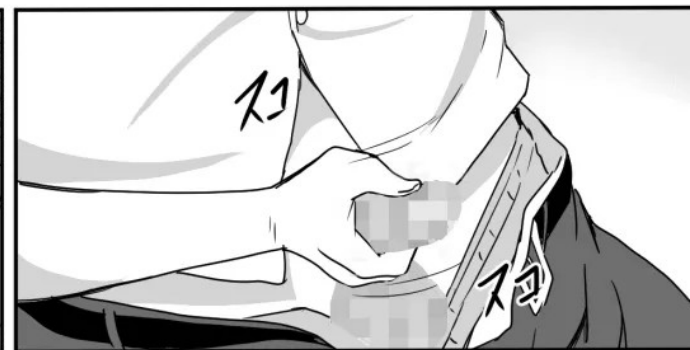
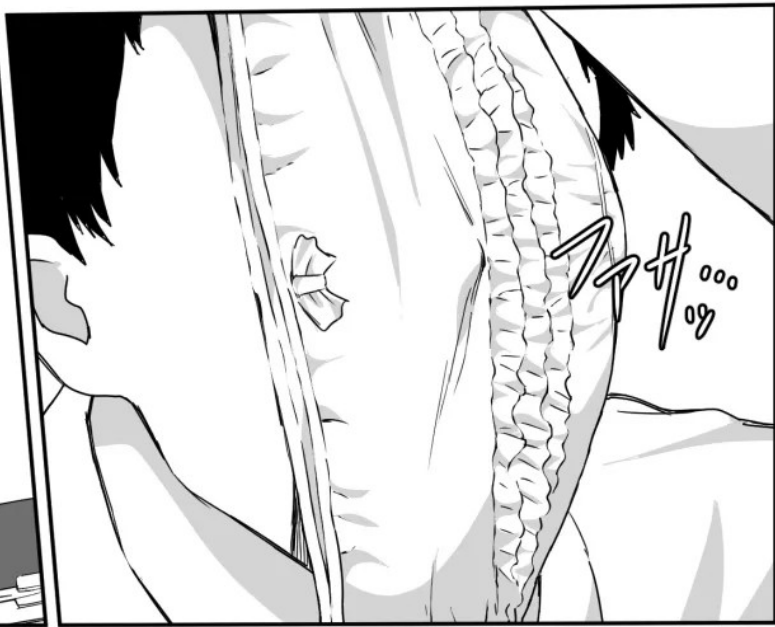
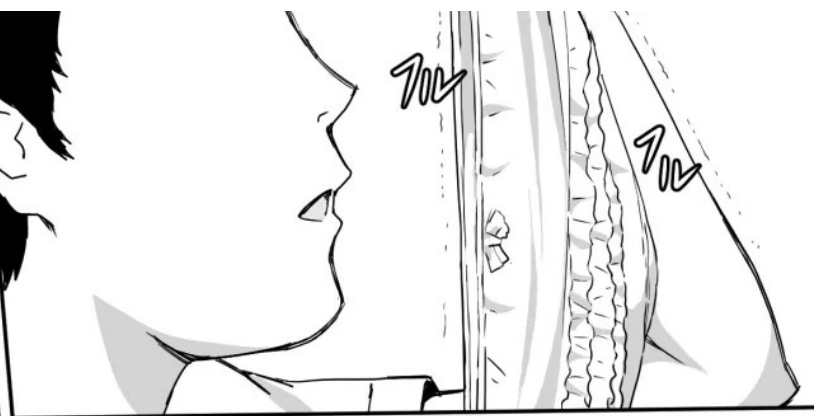


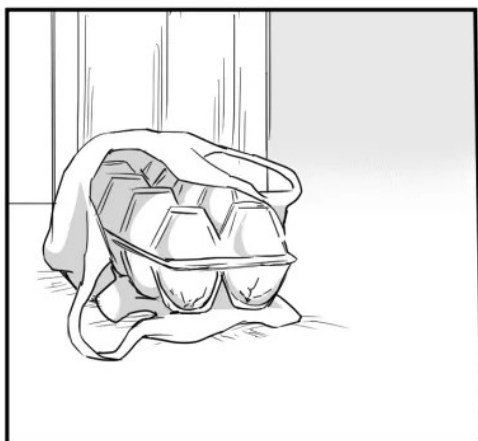
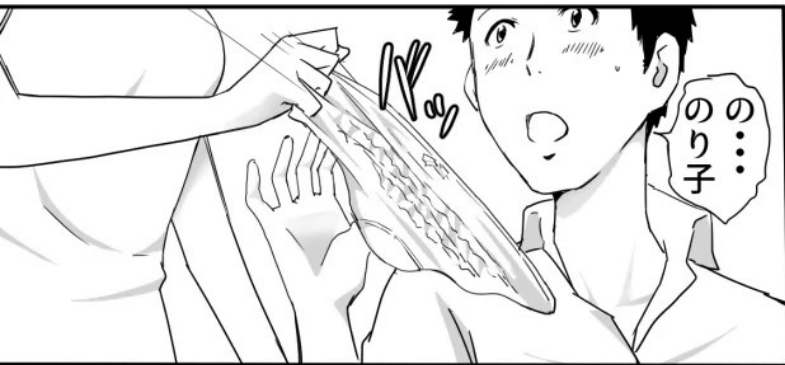
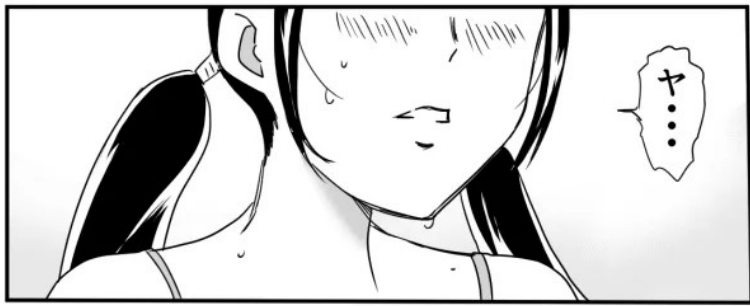


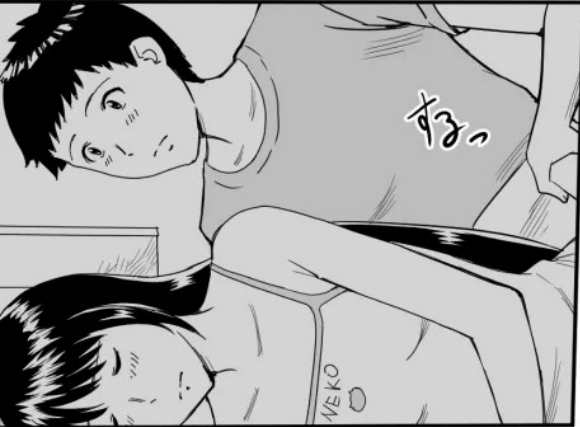
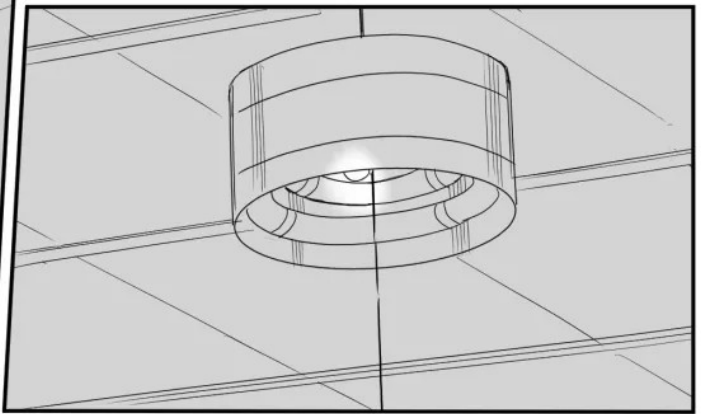
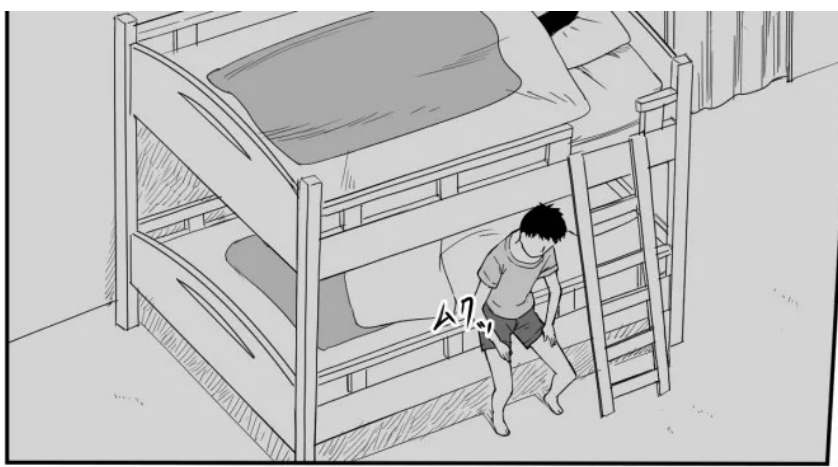


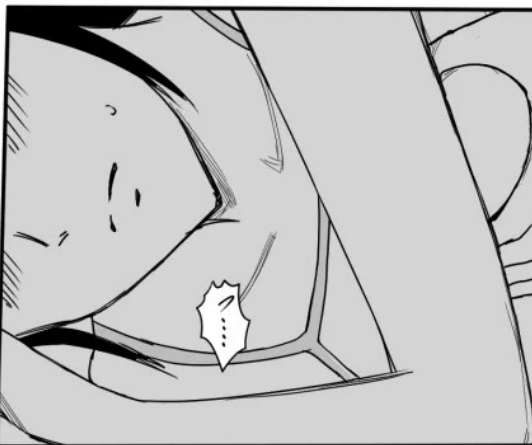
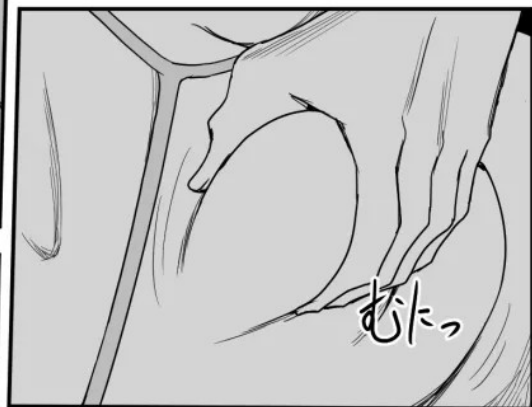
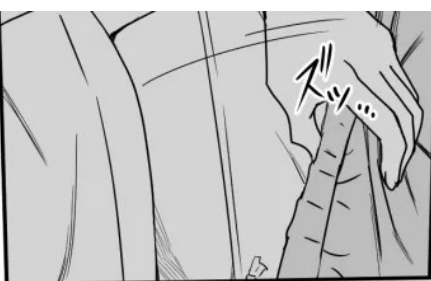


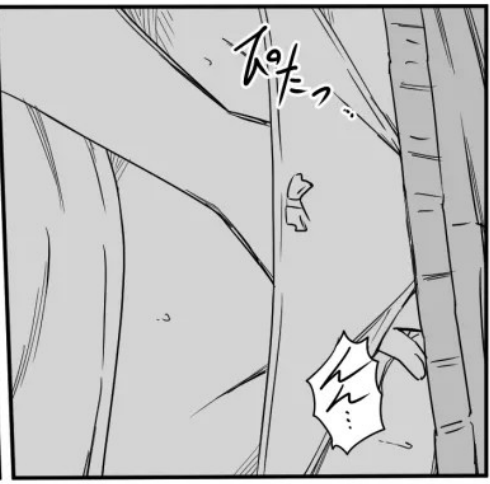
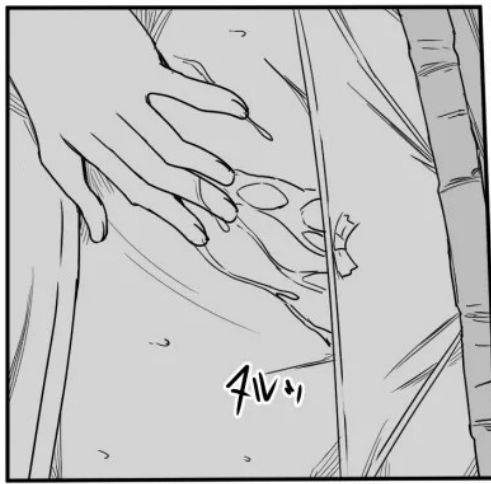
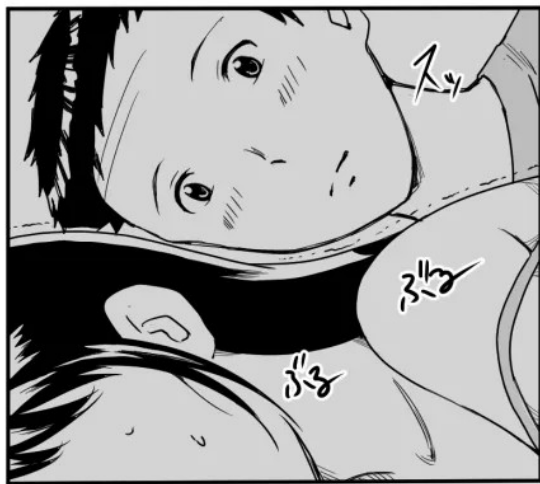




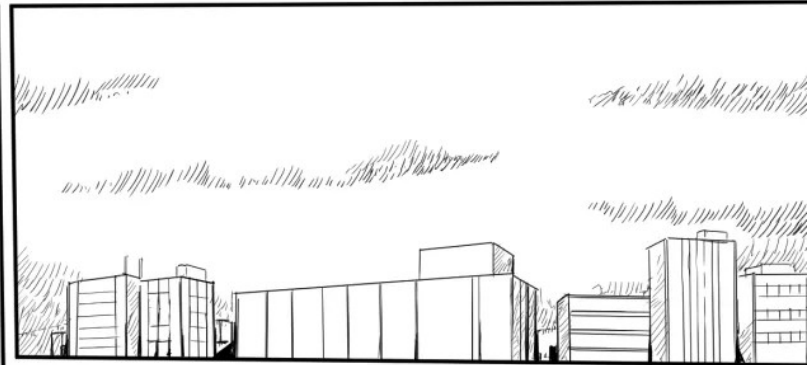
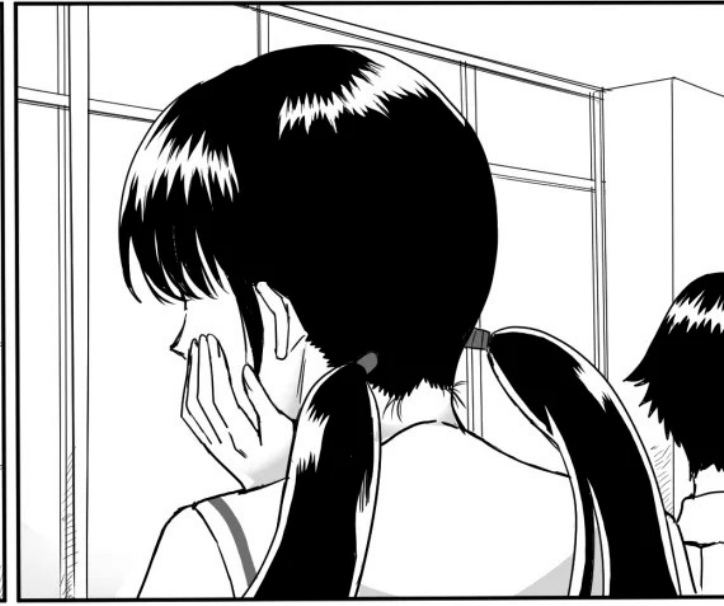


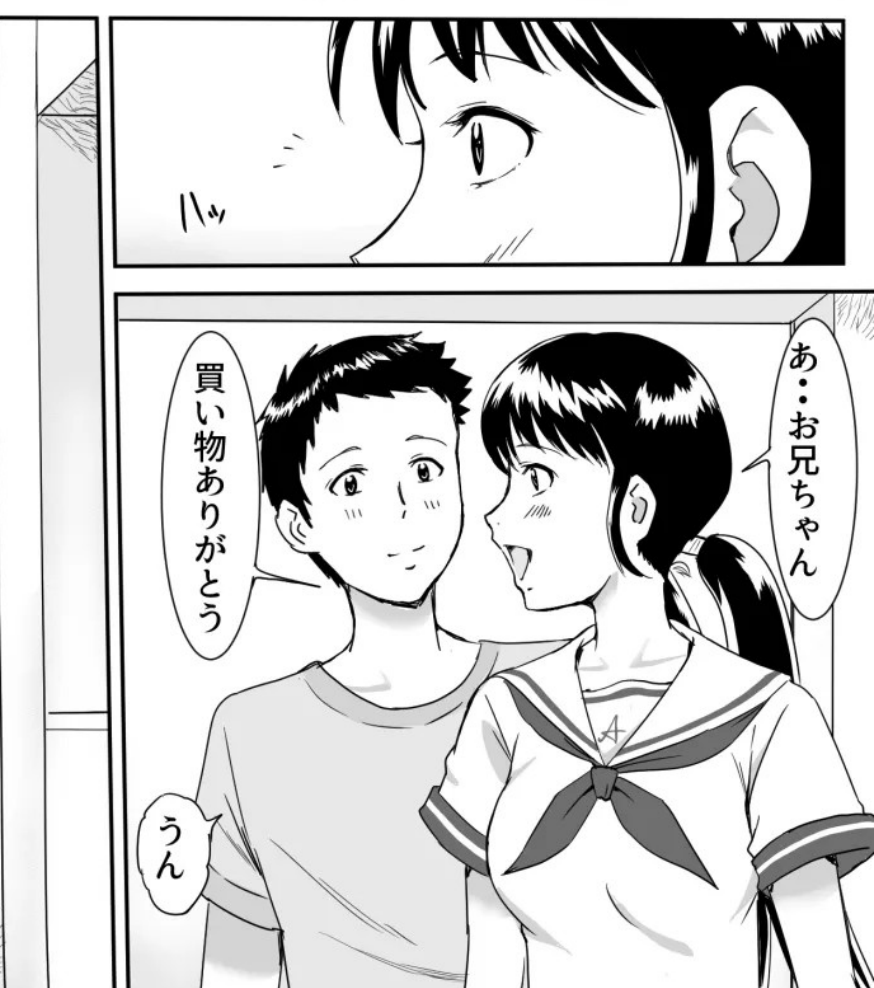
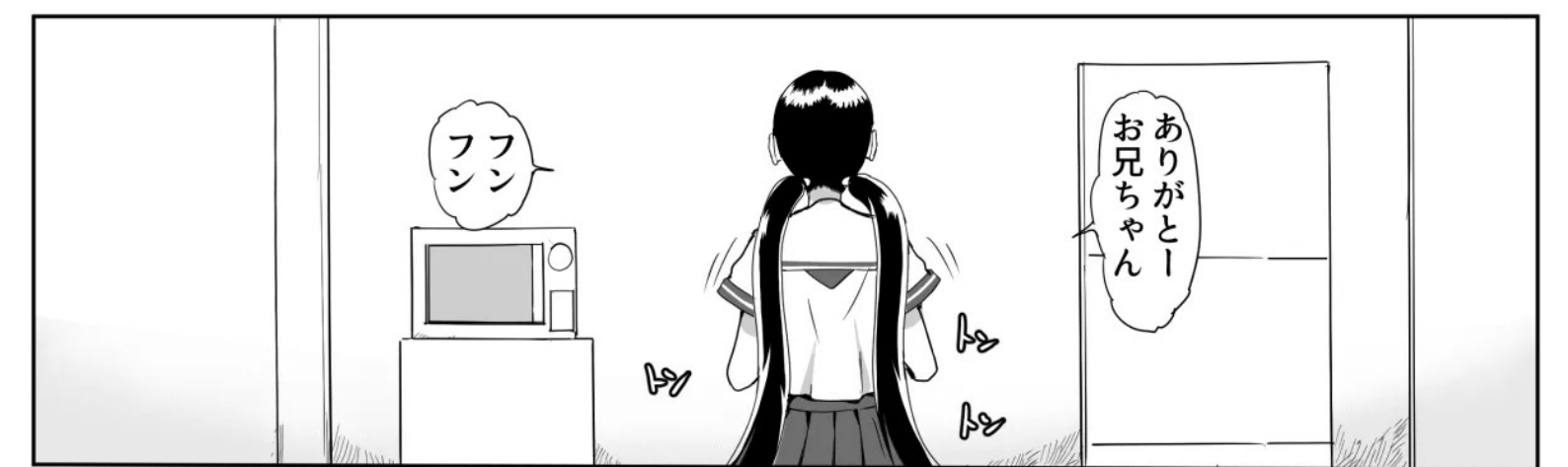














そんなに俺とじゃ
嫌か?

のり子...



ダメだから!



これは
違うと
思うの...

そ...
そうじゃ
ないけど



お兄ちゃん

.....
そうか...分かったよ
のり子が嫌ならもう
しない



えっ...

お互い学校で恋人
作ろうな

それじゃ
.....



学校の女子に告白
された

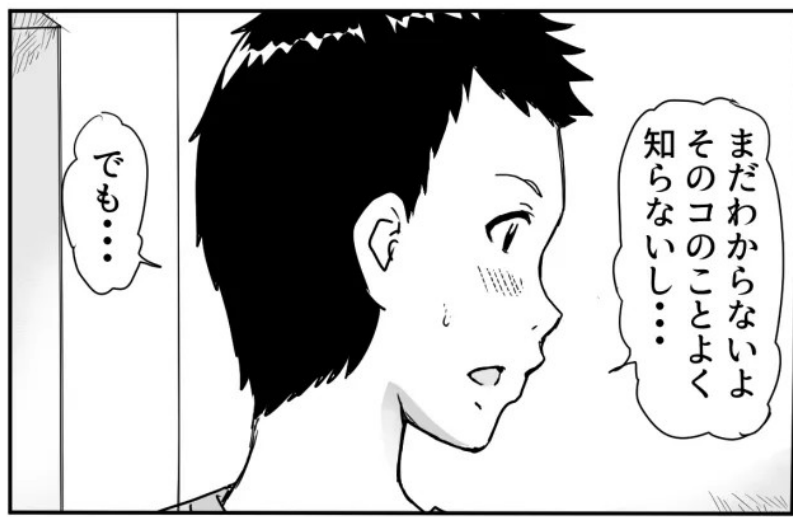
今日さ...

え...



急にそんなコト
.....

.....
.....
.....



でも...

まだわからないよ
そのコのことよく
知らないし...



っ...付き合うの?..



いずれはお互いそう
なるってコトだろ?

俺たち普通の兄妹の
ままでいるなら



悪かったなのり子

俺...お前のこと何か
勘違いしてたみたいだ



.....



違うか?

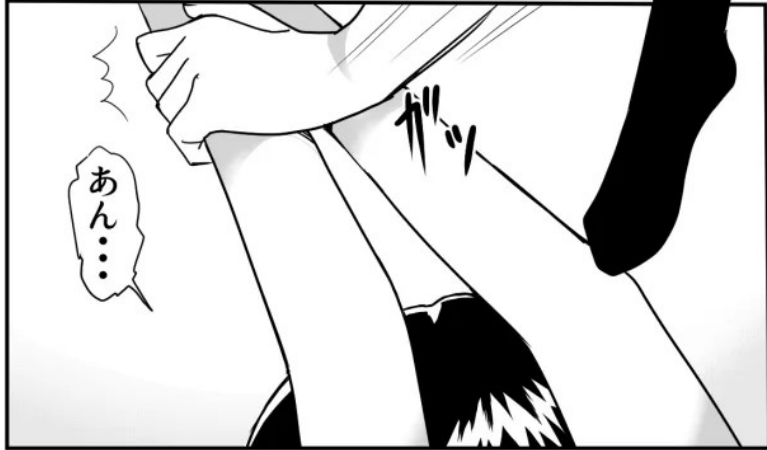
.....

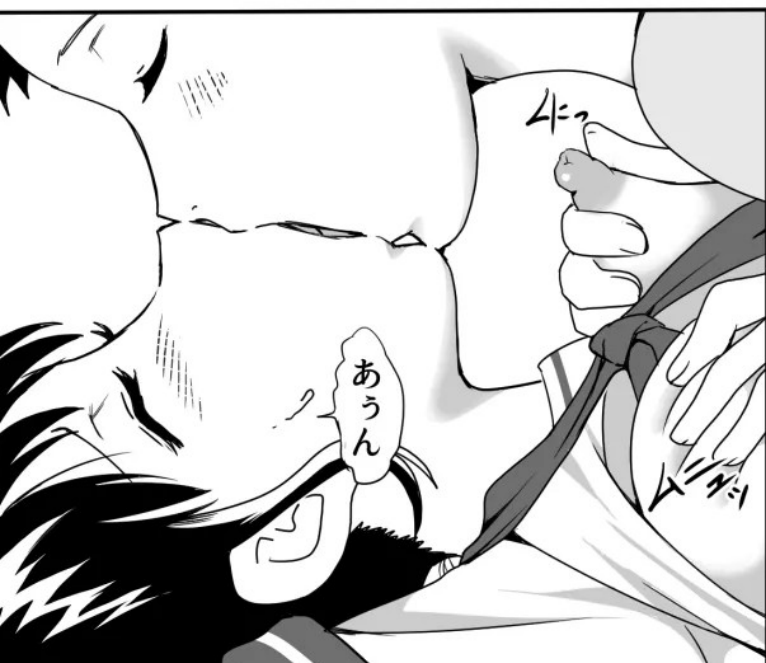
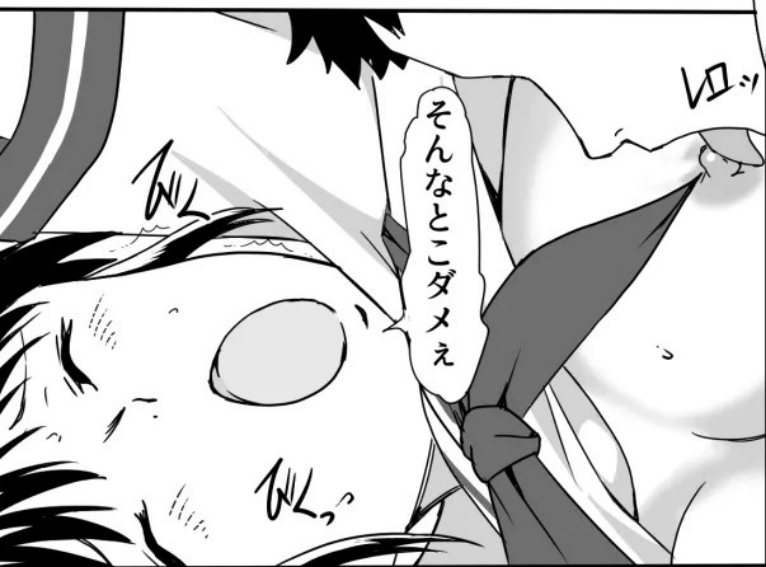
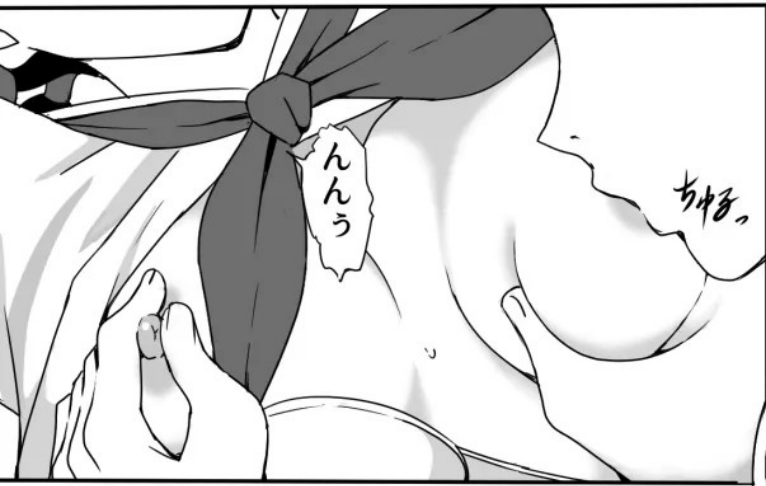


待ってよ

ん?













のり子挿れるよ

えっ……
ちよつと



あ……あああ……



はのあ



ズズズ



でもっ

ふっ

ふっ



やあん……イタイよ
お兄ちゃん!

これだけ濡れてるから
すぐ気持ちよくなるよ



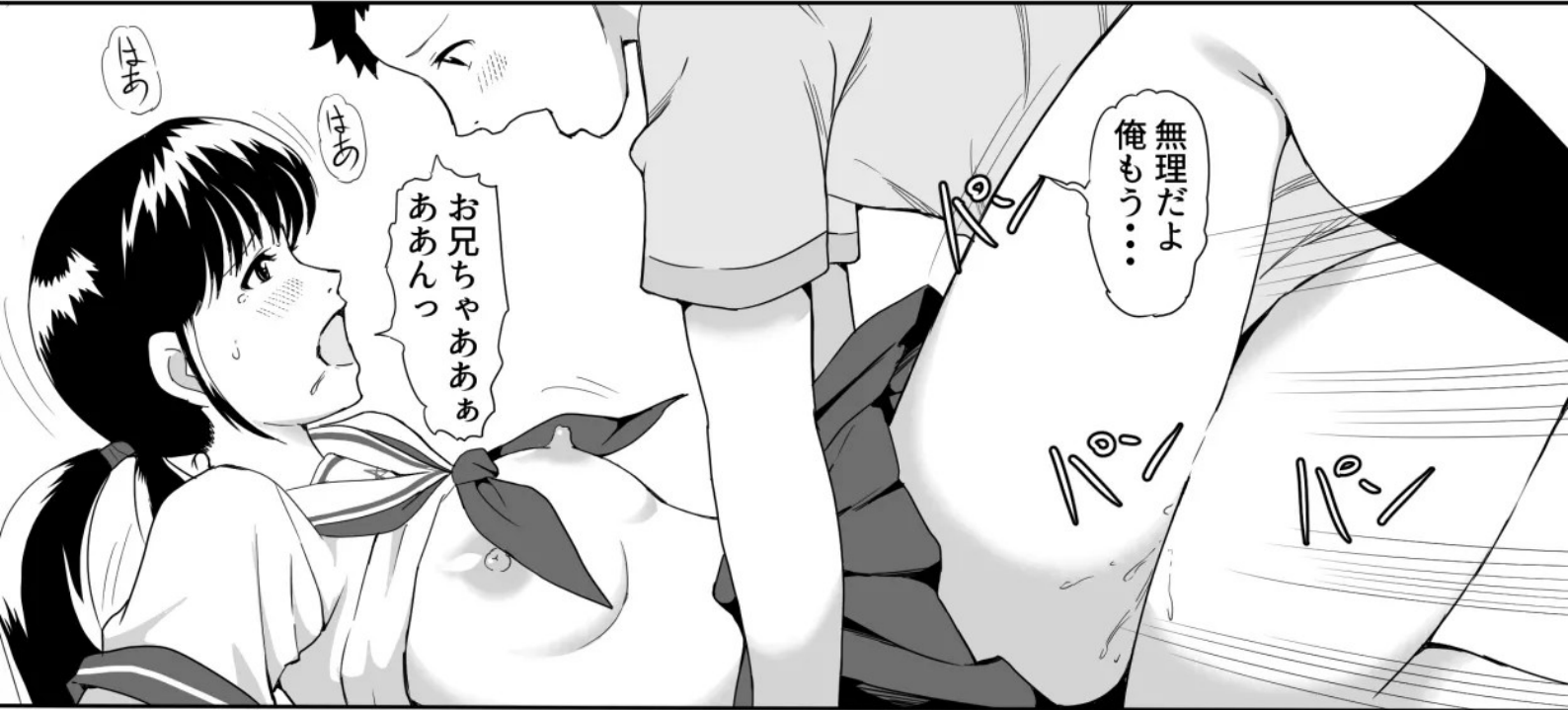
もっとうっけり

ひいああんっ

パッパッ

パッパッ

カッ



はあ

はあ

お兄ちゃああ
ああんっ

無理だよ
俺もう...

パッパッ

パッパッ



かんじゃああ

あああああ

カッ



カッ



ちやう



膣内がいっぱいで
キツいのだ...

何これ...

はな

ん



強くこすれて

んんん

んん

んんん



変な気持ちに
なるっ

あああ
あああ
あああ

ヤダ...
また

ん

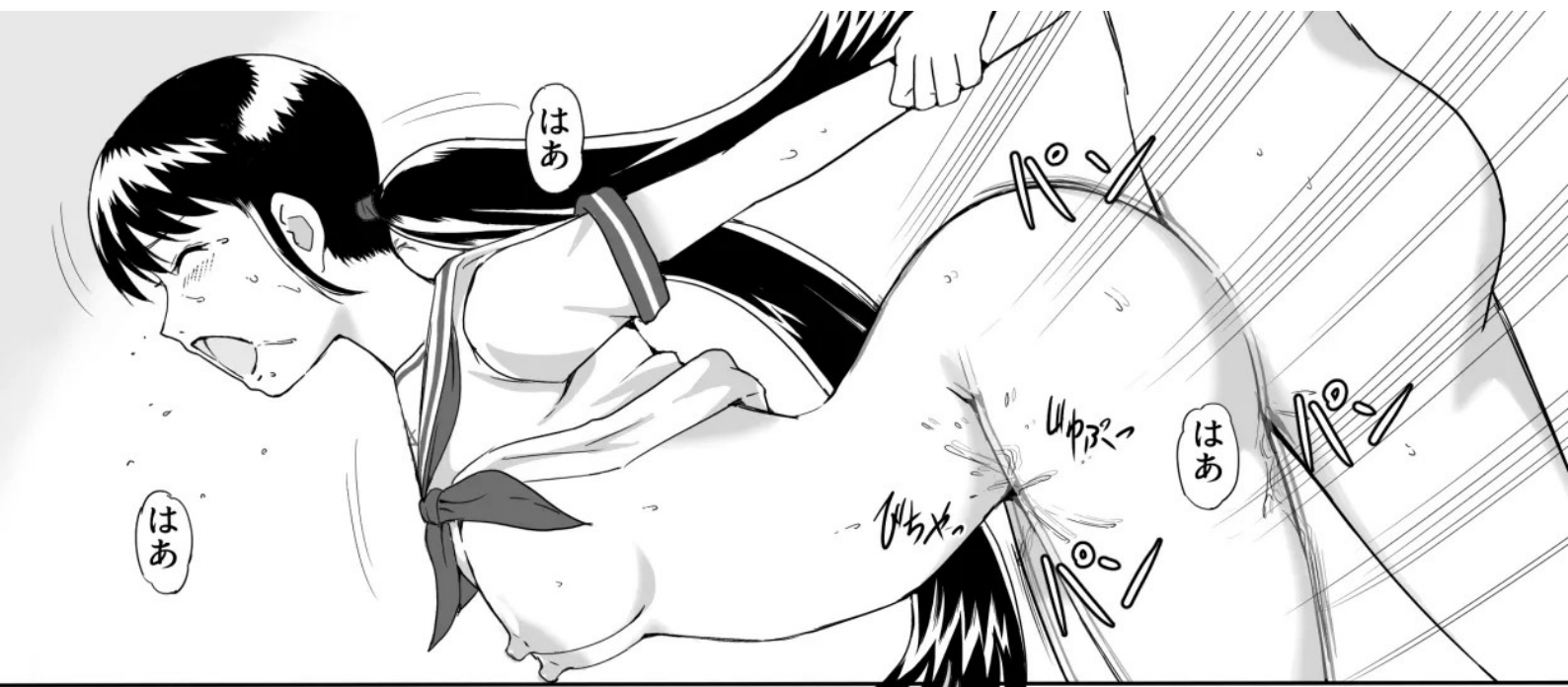


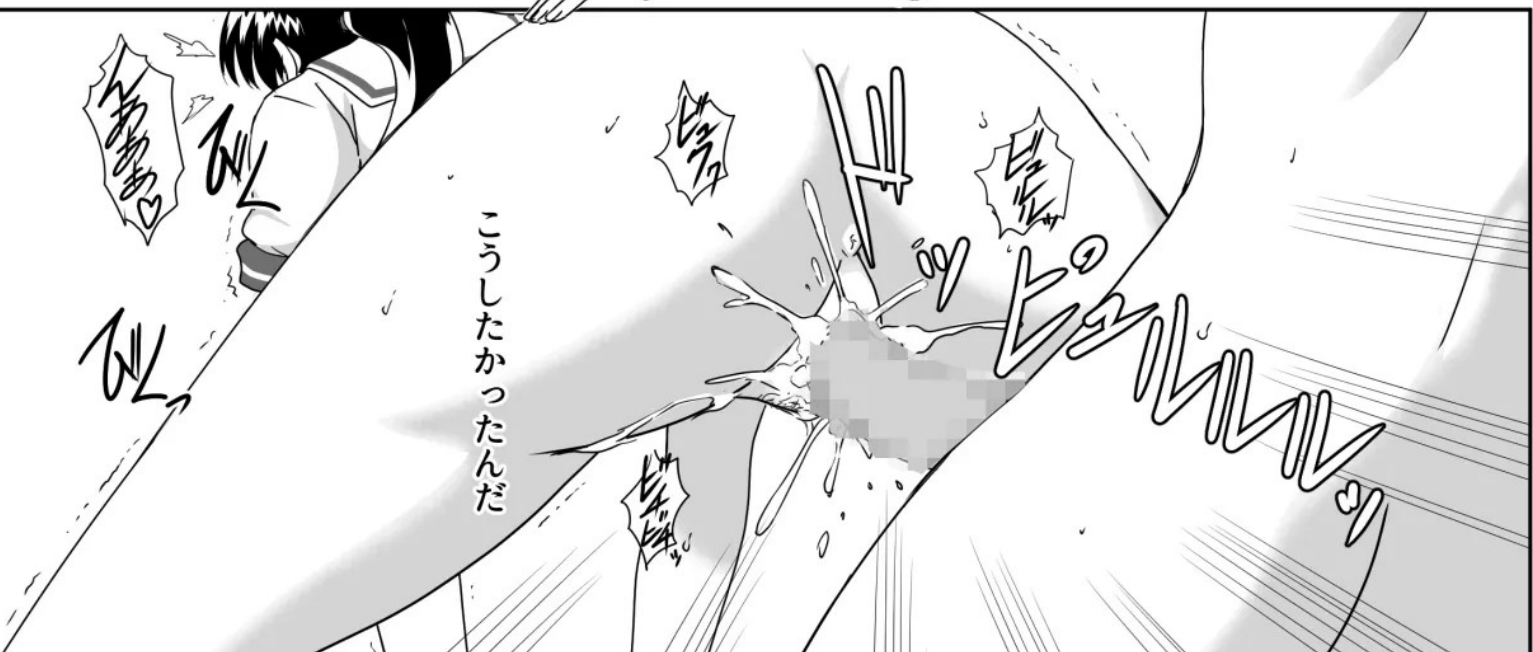
イクッ!

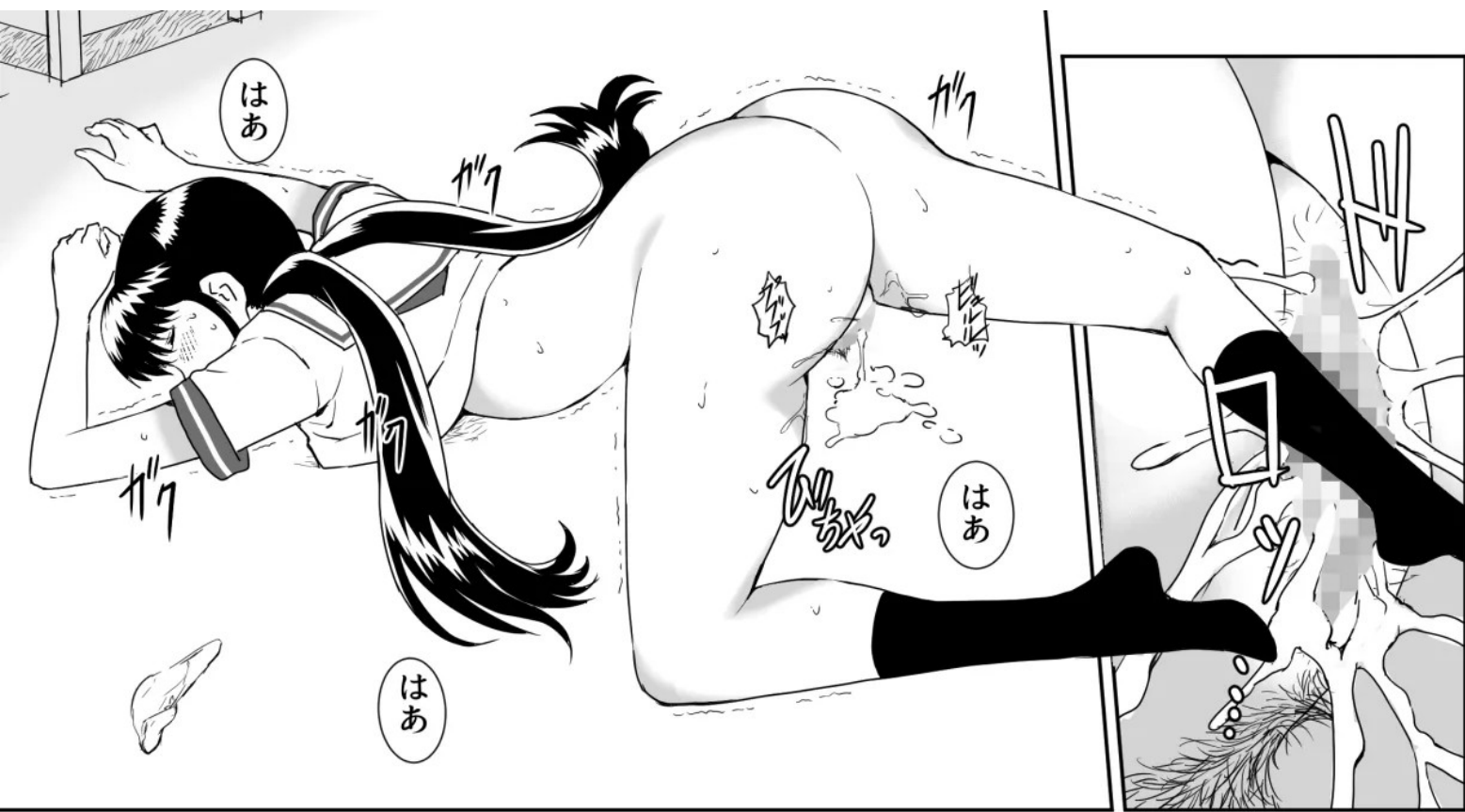
んんん

んん











のり子も早く
したいだろ？

そんな事
ないもん

ぽたっ



またおかしくなるっ

あああああっ

やああああんっ

フッ フッ フッ



のり子胸だけで
感じすぎw

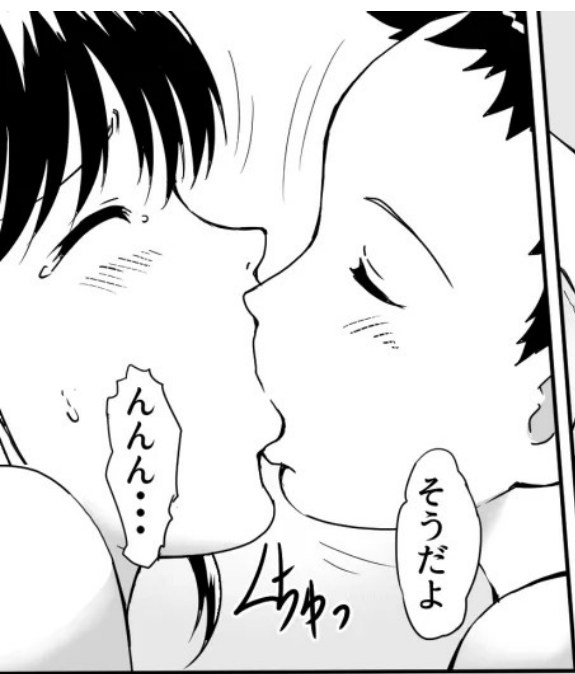
あああああっ



もうっ

お兄ちゃんが
そんなにする
からでしょ！

挿れるよ





お兄ちゃん!

うん...

か・感じるっ

こんなに絞めつけて
感じてるんだろ?
のり子っ

ああああああ



のり子のアソコ
たまらないっ!

俺もだのり子っ

あああはあああんっ



気持ちいいよっ

すごく...



自分で動いて

やあ

だめだめっ

ズンズン



上に来て...

あああああ

ズンズン



動かさないでえ

ズンズン



あひううっ



あくうう

ズンズン

むわっ

ホラ...
こっち向いて



そんなに...あんっ
ぱんぱんしたらあ

ズンズン



んあああああ

ズンズン

団地ののり子

第一話

2021年9月11日 潮みや著

- *この物語はフィクションです、実在の人物・団体・事件等とは一切関係がありません。
- *本作品の無断転載、複製、WEBへのアップロードを禁じます。
- *18歳未満閲覧禁止。